

… 各地でトビイロウンカによる 坪枯れが発生しています…

とくに収穫時期の遅い「きぬむすめ」「ミコトモチ」等では
注意が必要です。

1. 発生状況

- 1) 9月1日の巡回調査において、トビイロウンカの発生ほ場率は65.9%
(平年27.6%)と依然として平年に比べて多い傾向です。
- 2) 9月上旬には第3世代幼虫が発生しています。
- 3) 向こう1ヶ月の気温は高い時期もあると見込まれ、トビイロウンカの発生に好適と
思われます。

2. 防除方法

- 1) 平坦部では9月5日～21日頃に第3世代幼虫期となるので、ほ場をよく観察して、
成幼虫の合計が5頭/株以上なら早急に防除する。
- 2) 防除に当たっては、収穫時期が近いので薬剤の散布時期に注意し、**農薬の使用基準
(適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数)**を厳守する。

3. 防除対策

- 1) トビイロウンカの発生はほ場毎、ほ場内でも部分的に大きく異なるので、ほ場全体の
発生状況を的確に把握し防除の要否を判断してください。
- 2) トビイロウンカは株元に好んで寄生するので、**防除は株元に薬剤が十分かかるよう
に丁寧に行ってください。**
- 3) 収穫期が迫り薬剤防除が困難なほ場は収穫適期の範囲内で早めに収穫してください。

